

未来へつながる確かな安心をお届けします

# 肥後保険企画

2025年2月150号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 AIG 熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>

# 定期便

check



©2010熊本県くまモン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

いつも

ありがとうございます



こんにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。  
「趣味と実益を兼ねる」。自分の好きなことを仕事にしている人は、他人からはとてもうらやましく見えます。

ただ、スポーツ選手や漫画家、ユーチューバー・・・好きなことを仕事にしている人たちの共通点を考えてみると、間違いなくみんな凄まじい努力を重ねているはず。  
「好きなことを仕事にしているは「苦あれば楽あり」といった具合に、辛抱強く工夫した結果成功すれば大きな報酬につながることを知っているのだと思います。「好きこそものの上手なれ」ですね。

どんな仕事であっても、課題に取り組んで困難を乗り越える成功体験をきっかけとして好きになっていきます。

今の仕事に難しい課題があれば思い切った挑戦することで、「しなければならぬ」ことが好きなことに変わっていくはず。  
先月は年2回のダイアログを熊本中央公民館5階の和室の

会議室で開催しました。

ダイアログとは、相互理解を深めるコミュニケーション手法のこと。

みんなで車座になり、笑顔の絶えないあつという間の3時間でした。



より交流が深まった望年会

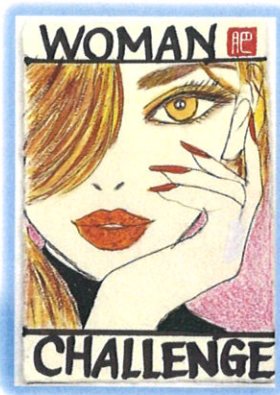
## 生命保険お役立ち一口情報

生命保険加入時は、死亡時に受け取れる保険金をどのくらいにしようとか、毎月の保険料はどのくらいまでなら大丈夫かなどを決めたうえで加入するのが一般的です。

しかし、いつまで保障が必要なのかを知らないまま加入されている方が実に多くいます。

たとえば定期付終身保険だと、一生涯の保障があると思いがちですが、その保障額の大部分を占める定期保険の期間は、10～15年といった商品が多く存在します。定期保険は期限が到来すれば、自動的に保障は更新されます。ただし、保険料はその時点での年齢での計算なのでかなり上がってしまいます。

将来、保険金額を減額し、保険料を抑えて更新していくなど、自動更新のまま放置しておくのではなく見直しが必要といえるでしょう。



今月のお届け  
松はがき

手書きなので  
枚数に限りはありますが、  
絵はがきをお届けしています。

健康経営を推進している弊社は、女性活躍・女性の健康課題の解決に取り組んでいます。

今月は【WOMAN CHALLENGE】と題して、生き生きと意欲的に仕事も、プライベートも楽しんで挑戦していく女性像を描いてみました。元気が出るオレンジや黄色をベースに自信に満ち溢れた主張のある眼差し、口紅は春に咲くガーベラの花をイメージ。チャレンジの結果、成功を収めた女性は強く美しい輝きを持っています。

## 確認してますか「ねんきん定期便」 後悔しないためにも



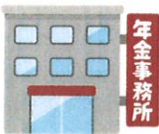
毎年、誕生日になると送られてくる「ねんきん定期便」というハガキ。ねんきん定期便とは、国の年金制度がきちんと運用されていることを伝えると同時に、将来自分がもらえる年金額を知らせるためのものです。

年金制度に不安を持つ人もいますが、今のところは適切に運用されていて、私たちが払った保険料はきちんと年金として返ってきます。

では実際の年金額はいくらになるのでしょうか。年金額は年金受給開始年齢までの年金に加入した期間と納めた保険料の額で決まります。もし年金が少なくて「たったこれだけ？」と思っても年金受給が始まってからでは取り

返しがつきません。このような悲劇を招かないために、「現在のあなたの年金額はいくらですよ。足りなければ自分でなんとかしてくださいね」と知らせてくれるのが、ねんきん定期便なのです。保険料未納の場合、基本的に2年前までなら遡って納めることができます。また、60歳を過ぎても未納部分を払う方法はいくつかあって、たとえば60歳以降、国民年金に任意加入することもできます。

年金は、10年分受給すれば、過去に払った保険料のぶんはもとがとれると言われています。年金は「もらうもの」ではなく「自分でつくるもの」と考えてねんきん定期便を活用しましょう。



年金事務所



## 肥後保険登山倶楽部

こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。今回は久住山のアルパインルートで3人で登ってきました。

牧ノ戸からのスタートで普通のハイキングと同じです。避難小屋からは普段とは違います。ハーネス、ヘルメット等、クライミングの道具を装着します。尾根に上がるまでは、下はザレ場と思われるが雪がしっかり乗っていて歩きやすく、怖さはありません。

尾根へ上がり岩稜帯へ出ます。雪は凍っていないのでピッケルは効かないので雪を払い除け掴む所や岩の隙間にピッケルを効かせ身体を上げていきます。山頂に近づくと傾斜はキツくなり安全確保の為に1箇所だけロープを使いました。山頂へ着くと安堵感で、



山頂直下の岩稜帯

3人で握手を交わしました。帰りの登山道が平和で心地よく、ずっと達成感に浸ってました。最高の久住山アルパイン登山でした。

## プロフェッショナルマネジャー



柳井氏が有名にしたといってもいい本書ですが、企業経営に携わる全ての人に最高の教科書となるのではと改めて思った一冊でした。

また、1980年代の日本人の働き方に米国人が恐れていたことが伝わってくるのも大変興味深いです。

「本を読むときは、初めから終わりへと読む。ビジネスの経営はそれとは逆だ。終わりから始めて、そこへ到達するためにできる限りのことをする」。

## 乱読コーナー

## 健康経営やっています



経営者から従業員に「巻物」で感謝の気持ちを伝えるという、あっと驚く楽しい企画を行いました。

弊社では、アクションラーニング（組織学習）の中で日頃から社員間で感謝の気持ちを伝え合っていますが、会社から感謝を記された巻物（しかも手書き）をもらうなんて、カードとは違い特別な気分になります。

健康経営優良法人認定必須項目の中に、社内コミュニケーションの促進に向けた取り組みが含まれています。フリーアドレス等の職場環境整備、サークルの設置、社員旅行やランチイベント、ボランティア、サックスポイント制度、など様々記載されていますが、その中でできることを自社の風土に落とし込み、取り組んでいきます。創意工夫で社内コミュニケーションを活性化することで、業務の円滑化や生産性向上など多くのメリットを生み出していきたいです。



まるで表彰式の様です